



2022年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社フォーシーズHD
代 表 者 名 代表取締役社長 天童 淑巳
(コード番号 3726 スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 上 畠 正 教
(TEL. 092-720-5460)

2022年9月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異および

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年11月12日に公表いたしました2022年9月期第2四半期連結業績予想と、本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2021年11月12日に公表いたしました2022年9月期通期連結の業績予想につきまして下記のとおり修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績値との差異について

(1)2022年9月期 第2四半期連結業績予想と実績値との差異 (2021年10月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前 回 発 表 予 想 (A)	1,615	△32	△32	△32	△4.51
実 績 値 (B)	1,233	△90	△88	△78	△10.93
増 減 額 (B-A)	△381	△58	△56	△46	△6.42
増 減 率 (%)	△23.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (2021年9月期第2四半期)	980	△93	△95	△88	△12.39

(2)差異の理由

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発表された日銀短観における大企業の業況判断D I (最近)は、製造業及び非製造業とも7四半期ぶりに悪化しており、資源価格の高騰や新型コロナ・オミクロン株の流行などが企業の景況感を押し下げており、国内景気の先行きは引き続き不透明感が強まっております。このような状況のもと、当社グループにおきましても業績回復に向けて、各事業会社がそれぞれの特性に合わせた積極的な施策を推進しており、また、グループ全体で取り組んでいるコスト改善プロジェクトの効果も出ております。なかでも、コミュニケーション・セールス事業は、売上高におきましては新規顧客の減少により予想を下回っているものの、広告宣伝費を含めたコスト削減の効果が顕著に表れており、セグメント利益は予想を上回る結果となりました。また、化粧品卸事業及び衛生コンサルティング事業においては、コロナウイルスの影響が継続していることから売上高は予測を下回っているものの、セグメント損失については、概ね予想どおりの結果となりました。しかしながら、前第3四半期連結会計期間からスタートしたアロマ事業において、コロナウイルス禍による消費者のリテール店舗への戻りが鈍く、売上高・セグメント利益ともに予測を大きく下回る結果となったことから、当第2四半期連結累計期間の経営成績は予想を下回る業績となりました。

2. 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

(1) 2022年9月期 通期連結業績予想の修正 (2021年10月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	3,270	67	64	60	8.53
今回修正予想(B)	2,888	9	9	19	2.64
増減額(B-A)	△382	△58	△55	△41	△5.89
増減率(%)	△11.7	△86.6	△85.9	△68.3	△69.1
(ご参考) 前期連結実績 (2021年9月期)	2,469	△148	△150	△178	△24.94

(2) 修正の理由

当第2四半期連結会計期間において、2022年9月期第2四半期連結業績予想と実績値との乖離が生じたことや、今後も新型コロナウイルスの影響が一定程度残る等の理由から、2021年11月12日に開示いたしました通期連結業績予想の売上高及び営業利益等への回復は困難と判断し、通期連結業績予想値を下方修正することといたしました。

しかしながら、引き続き効果的な広告宣伝活動や、商品開発、コスト削減の継続等を行い、利益の回復へ注力してまいります。

※ 上記の予想は、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上